

総務省では、統計の重要性に対する理解と関心を深め、統計調査により一層、国民の協力を頂けるようにと定めた「統計の日」（10月18日。昭和48年7月3日閣議了解）の周知を図るため、毎年「統計の日」のポスターを始めとする広報媒体に活用すべく標語を募集しています。

今年度は10,517点の応募の中から、特選1点佳作5点が選出されました。

入選作品は、「統計の日」ポスターのほか、各種広報に活用することとされています。

平成29年度「統計の日」標語

【特選作品】

◎統計調査員の部

統計が 教えてくれる 地域力

(滋賀県守山市統計調査員 近松 清司)

【佳作作品】

◎小学生の部

そうなんだ！くらべてしらべて大はっけん（茨城県桜川市立雨引小学校2年
西村 幸介）

◎中学生の部

統計で 今と向き合い 変える未来^{あす}（青森県むつ市立むつ中学校2年
田中 望友）

◎高校生の部

統計は ひと目で分かる みんなの声（宮崎県立延岡青朋高等学校2年
岩崎 涼）

◎一般の部

積み上げた 統計データは 宝箱（山形県東根市 安達 昇）

◎公務員の部

見えてます 数値の変化で 社会の変化（都道府県職員 吉岡 浩幸）

(敬称略、学年は平成29年6月現在)